

研修会報告

2018年度第2回資格更新研修会

7月21日(土)13:30より、能登川コミュニティセンターの学習室1・2・3・4にて、滋賀大学教育学部の芦谷道子教授をお招きし、「ADHDの子どもの理解と心理教育的支援」と題し、ご講演いただきました。



合理的配慮について教育における主な取り組み、ADHDに関する基礎的な理解、心理教育的支援、ADHDの発達特性に応じた教育的支援などについて、明日からできる内容をお話ししていただきました。

ADHD児の心理教育的支援では、主に外的適応を促す支援(教育的支援)と主に内的適応を促す支援(心理的支援)のバランスが重要であること、同時に保護者への支援も必要であることから、心理職と教育職の連携が大切であると学びました。また発達障害(特性)か愛着障害(環境因)かによって支援内容が異なりますが、「特性×環境因」の両方の可能性をもって支援していくことで、成長・発達の環境を少しでも質の良いものにすることが大切であると学びました。支援における言葉の重要性(言葉は他者と共有できるもの)についても触れられました。心理的支援は主に二次的問題に対応するものであること、保護者へのペアレント・トレーニングの重要性や具体的な方法を学ぶことができました。私たち参加者一人ひとりが自分の実践を見直し改善していくための視点を与えていただきました。

滋賀支部の参加者は34名、他支部からは18名、そして一般の参加者も2名で合計54名という多くの方に参加いただくことができました。

現場の先生方が求めておられる具体的な支援方法を知ることは、日々の取り組みを見直すきっかけにもなると思います。今後も滋賀支部の先生方が学びたいと思われる内容を企画していきたいと思いますので、役員までお声をお寄せください。よろしくお願いいたします。